

## 薬学英语3

責任者・コーディネーター	構造生物薬学分野 阪本 泰光 准教授		
担当講座・学科(分野)	機能生化学分野、分析化学分野、生体防御学分野、構造生物薬学分野		
対象学年	3	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	後期		
単位数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

英語力を確認し、薬学の専門家になるために必要な英語の医療用語を身につける。英語で記載された医薬品関連文書などの内容を理解するため、読解力を高める。また、生物学の英語教科書に添付されている DVD を活用し、内容を聴き理解する能力を修得する。

### ・教育成果（アウトカム）

医療現場を設定した英会話や、英語で記載された医薬品関連文書を読むことを通して、薬学の専門家になるために必要な医療用語を習得し、読解力を高めることができる。生物学の教科書に添付されている英語の DVD を視聴することにより、英語による説明を聴いて内容を理解する能力を修得できる。  
(ディプロマ・ポリシー：5,7,9)

### ・到達目標（SBO）

1. 免疫学、生化学や細胞生物学の内容を英語で説明している視聴覚教材を視聴して、内容を説明できる。（☆）
2. 薬学研究における英語の必要性を説明できる。
3. 生物・医学・薬学分野の基礎的用語を英語で表現できる。
4. 英語の生物・医学・薬学分野の文章や医薬品の添付文書を読むことができる。（☆）

### ・講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
9/29	水	4	構造生物薬学分野	阪本 泰光 准教授	講義内容の説明、英語力の確認 EF Set Quick Check (15 分) 薬学専門用語の習得と薬学分野の英文読解、ヒアリング 1. 薬学研究における英語の必要性を説明できる。 2. 薬学分野の基礎的用語を英語で表現できる。 3. 薬学分野の文章を読むことができる。 4. 構造生物分野の視聴覚教材を聴き取ることができる。

					<p>5. 英文問診票を作成し、ロールプレイを行うことができる。</p> <p>事前学習：医薬品の英文添付文書の指定箇所を読み、大体の内容を理解する。</p> <p>事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。</p>
10/6	水	4	構造生物薬学分野	阪本 泰光 准教授	<p>1. 薬学研究における英語の必要性を説明できる。</p> <p>2. 薬学分野の基礎的用語を英語で表現できる。</p> <p>3. 薬学分野の文章を読むことができる。</p> <p>4. 構造生物分野の視聴覚教材を聴き取ることができる。</p> <p>5. 英文問診票を作成し、ロールプレイを行うことができる。</p> <p>事前学習：医薬品の英文添付文書の指定箇所を読み、大体の内容を理解する。</p> <p>事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。</p>
10/20	水	4	生体防御学分野 構造生物薬学分野	大橋 綾子 教授 阪本 泰光 准教授	<p>英語力の確認 EF Set (50分)</p> <p>薬学専門用語の習得と薬学分野の英文読解、ヒアリング</p> <p>1. 薬学研究における英語の必要性を説明できる。</p> <p>2. 薬学分野の基礎的用語を英語で表現できる。</p> <p>3. 薬学分野の文章を読むことができる。</p> <p>4. 免疫学分野または構造生物分野の視聴覚教材を聴き取ることができる。</p> <p>事前学習：医薬品の添付文書の指定箇所を読み、大体の内容を理解する。</p> <p>事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。</p>
10/27	水	4	生体防御学分野 構造生物薬学分野	大橋 綾子 教授 阪本 泰光 准教授	<p>薬学専門用語の習得と薬学分野の英文読解、ヒアリング</p> <p>1. 薬学分野の基礎的用語を英語で表現できる。</p> <p>2. 薬学分野の文章を読むことができる。</p>

					<p>3.免疫学分野または構造生物分野の視聴覚教材を聴き取ることができる。</p> <p>事前学習：医薬品の添付文書の指定箇所を読み、大体的内容を理解する。</p> <p>事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。</p>
11/24	水	4	分析化学分野	藤本 康之 准教授	<p>生物・医学・薬学分野の用語を英語で学ぶ</p> <p>1. 生物・医学・薬学分野の用語を英語で表現できる。</p> <p>事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。</p>
12/1	水	4	分析化学分野	藤本 康之 准教授	<p>生物・医学・薬学分野の文章を読む</p> <p>1. 生物・医学・薬学分野の文章を読むことができる。</p> <p>事前学習：医薬品の添付文書の指定箇所を読み、大体的内容を理解する。</p> <p>事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。</p>
12/8	水	4	機能生化学分野	中西 真弓 教授	<p>薬学専門用語の習得と薬学分野の英文読解、ヒアリング</p> <p>1. 薬学分野の基礎的用語を英語で表現できる。</p> <p>2. 薬学分野の文章を読むことができる。</p> <p>3. 生化学分野の視聴覚教材を聴き取ることができる。</p> <p>事前学習：医薬品の添付文書の指定箇所を読み、大体的内容を理解する。</p> <p>事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。</p>
12/15	水	4	機能生化学分野	中西 真弓 教授	<p>薬学専門用語の習得と薬学分野の英文読解、ヒアリング</p> <p>1. 薬学分野の基礎的用語を英語で表現できる。</p> <p>2. 薬学分野の文章を読むことができる。</p> <p>3. 生化学分野の視聴覚教材を聴き取ることができる。</p> <p>事前学習：医薬品の添付文書の指定箇所を読み、大体的内容を理解する。</p>

					事後学習：講義で扱った薬学専門用語を復習する。添付文書や細胞生物学の視聴覚教材の説明文を音読しつつ、その内容を理解する。
--	--	--	--	--	--

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	Drills for Medical English	高垣俊之	鷹書房弓プレス	2007
参	Essential 細胞生物学 原書第4版	中村桂子・松原謙一 監訳	南江堂	2016
参	医療スタッフのための英会話 ハンドブック	ルーサーリンク、 カートリンク、村瀬忠	研究社	2015

・成績評価方法

定期試験（100%）により評価する。

・特記事項・その他

CEFR B1 レベルの英語力（英検 2 級（高校卒業）程度）が必要です。  
 講義初回、3 回目に EF Set による英語力の確認を実施する。  
 学内のインターネットに接続できるようにセットアップした PC、イヤフォンを持参すること。  
 復習として、講義で配布した資料に出ている薬学専門用語を覚え、英文の内容を理解すること。  
 また、講義で視聴した生物・医学・薬学分野の英文を書く練習をすること。  
 授業に対する事前学修（予習・復習）の時間は各々最低 90 分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン	1	講義資料の投影、および視聴覚資料再生のため